

◆共通

- ・許可者以外のエリア立入禁止
- ・エリア内でのバイク乗車禁止
- ・レースナンバー バイクは背中、ランは正面
- ・バイクピックアップ時には、レースナンバーの照合を行う

★情報管理

* 下記1)のラックには、赤いテープを貼っていく

- 1)DNSの確認
- 2)スイムリタイア者の確認
- 3)バイクリタイア者の確認
- 4)各カテゴリの最終スタート者(バイク、ラン)の確認と報告
- 5)スイムスキップ者の確認

反射板は、選手権は外す。エイジは、きっちりとまり落ちる心配が無ければそのままOK。緩い場合は、締める 又はテープでとめる。

①バイク・チェックイン担当、ピックアップチェック担当

- ・ 入場口でリストバンドの提示を求め、競技者であることを確認する
- ・ 検査は、二人一組で行う
- ・ 検査項目:指差し確認で、レースナンバー、ヘルメット、ハンドル、ブレーキ、ホイール、ボトル + 備品(ベル、反射板、スタンド等を確認)
- ・ ペットボトルは不可(専用ゲージを除く)
- ・ レースナンバーシール:バイク用(両面から確認できること)およびヘルメット用(3枚)を確認する
- ・ ストラップ:競技者にヘルメットを装着してもらって確認

②セッティングチェック・エリア内担当

- ・ バイクをラックかける向きに注意する
- ・ ヘルメットのストラップ(必ず外しておく)
- ・ ラックへのマーキング(テープを貼る、衣類やウェットスーツをかける、地面にタオルをテープで貼るなど)は禁止
- ・ その他用具のはみ出しは修正する
- ・ 競技規則を遵守した公平で安全なトランジション環境を指導・監視
- ・ 確認事項:ラックの掛け方、ヘルメットのストラップ(必ず外すよう指導)、ラックのマーキング禁止など
- ・ セッティング完了後、競技者に対しスイム会場への誘導、忘れ物(スイムキャップやゴーグルなど)がないか声掛けをする

③バイク乗降者ライン担当

- ・ 競技規則を遵守したバイクの乗降車を指導・監視する業務。選手権時はペナルティ確認。
- ・ 乗降車(特に乗車時)にふらついて転ぶ選手等の注意。ラインから余裕を持って乗ってもらう。

④誘導担当

- ・ 各担当者は、安全に競技遂行できるよう設営を行う
- ・ 特に、他の競技者との交錯防止を図るようにする
- ・ スイムフィニッシュする競技者との交錯防止のためコースを区分・誘導
- ・ ランスタートする競技者との交錯防止のためコースを区分・誘導する
- ・ リレー部門の選手引継ぎの監視
(S→B:バイク選手は、アングルバンドを受け取ってからバイクラックへ。B→R:バイク選手は、バイクをラックにかけてからリレーゾーンへ)